

2026 年 6 月 4 日

記者各位

京セラ株式会社

京セラギャラリー-2026 年夏季特別展 KYOCERA × MIZUNOKI COLLECTION 「Unknown Trails-1959 年からの歩み-」を開催

京セラ株式会社（代表取締役社長：作島 史朗、以下：京セラ）は、京都新聞とみずのき美術館（京都府亀岡市）と共同で、京セラ本社ビル 1 階の京セラギャラリー（京都市伏見区）において、2026 年 6 月 19 日（金）から 8 月 1 日（土）まで、2026 年夏季特別展 KYOCERA × MIZUNOKI COLLECTION 「Unknown Trails-1959 年からの歩み-」を開催します。



小笹逸男（おごさいつお）
《猫と私》1984



吉川敏明（よしかわとしあき）
《タイトル不明》1965



山本悟（やまもとさとる）
《直線による色彩構成》1973

※すべて参考作品。出品作品とは異なる場合がございます。

京セラギャラリーでは、社会貢献活動の一環として、京都にゆかりのある若手作家や障がいのある作家の活躍の場を創出することをコンセプトに、積極的な支援活動を行っています。

みずのき美術館は 2012 年に亀岡市に開館し、障害者支援施設「みずのき」にて取り組まれていた「みずのき絵画教室」から生まれた絵画作品約 2 万点を所蔵しています。「みずのき絵画教室」は、当初は施設での余暇活動のために始まりましたが、次第に専門的になり美術関係者の目にも留まるようになりました。1990 年代には日本におけるアウトサイダー・アートの草分け的存在としても注目を集めました。

「みずのき」の前身である「亀岡松花苑」は、京セラの創業と同じ 1959 年に設立されました。分野は異なりますが、京都において同じ年に誕生し、道を切り開きながら歩んできた「京セラ」と「みずのき」。こうした背景を契機として、障がいのある方の作品をより多くの方にご覧いただく機会の創出を目指して、特別展「Unknown Trails-1959 年からの歩み-」の開催に至りました。

本展では、京セラ創業者である稲盛和夫の言葉も参照しながら、1959 年から現在に至るまで、各時代の作品とともに、「みずのき」の変遷について 4 部構成で展示します。

また、みずのき美術館においても、MIZUNOKI COLLECTION 2026 前期「みずのきアーカイブスー作品と資料ー」が同時期（6月19日～8月1日、金土日祝開館）に開催され、「みずのき絵画教室」にまつわる貴重な資料や作品が公開されます。

障がいのある方々の表現に触れ、新たな視点からの文化芸術を体験する貴重な機会として、多くの皆様のご来館を心よりお待ちしております。

■展示概要

会場	京セラ株式会社本社ビル1階 京セラギャラリー (住所：京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地)
会期	2026年6月19日（金）から8月1日（土） ※7月4日（土）、日曜日、祝日は休館
開館時間	午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
入館料	無料 ※個人見学は予約不要。10名以上の団体の場合は予約が必要 https://contact.kyocera.co.jp/inquiry/ja/museum/input.html
展示数	約70点
主催	京セラ株式会社、京都新聞
共催	京都市、亀岡市
後援	KBS 京都、エフエム京都
企画	みずのき美術館

みずのき美術館について



京都・亀岡の社会福祉法人松花苑（しょうかえん）が運営する美術館。2012年開館。

障害者支援施設「みずのき」で1964年～2001年にかけて行われた絵画教室から生まれた約2万点の作品の所蔵と展示、そしてアール・ブリュットの考察を基本に据える。アートを個人の深い内面からの発信ととらえ、作品を通してさまざまな「個」に出会い、そして人間の多様性の理解へと広がっていくことを期待し、収蔵品の作品展示のほか、現代のアーティストやクリエイターとのコラボレーションによる多彩な展覧会・アートプロジェクトを企画開催している。

●見学・展示に関するお問い合わせ

京セラ株式会社 【見学】Tel: 075-604-6141 / 【展示】Tel: 075-604-3518

●報道機関からのお問い合わせ

京セラ株式会社 広報室 本社 Tel: 075-604-3514（直） / 東京 Tel: 03-6364-5503（直）

京都新聞 COM 営業局営業部 Tel: 075-241-6172